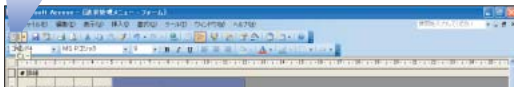


10 フォームビューを表示する

マクロが正しく動作することを確認するためにフォームビューを表示する

[ビュー]
をクリック

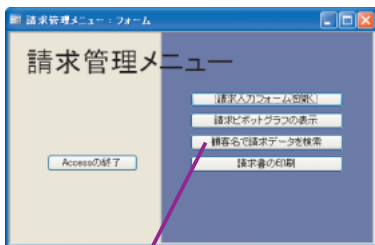


マクロにはコメントを入力しよう

マクロにはアクションごとにコメントを入力することができます。コメントはアクションの実行には影響しないため、自由な内容を入力できます。それがどのような意図でどういった動作をするマクロなのかといったことをコメントに入力しておけば、あとでマクロを見たときにマクロやアクションの内容や意図がわからないということはなくなります。特に複数のアクションでマクロを作るときは、あとでマクロを見たときにその動作がわかるようなコメントを入力しておきましょう。

11 [顧客名で請求データを検索] ボタンの動作を確認する

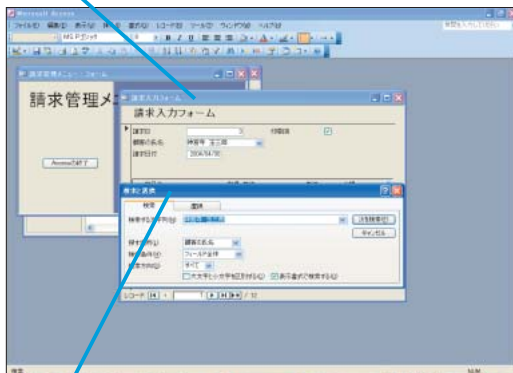
① フォームをウィンドウ表示にする



② [顧客名で請求データを検索] をクリック

12 [検索と置換] ダイアログボックスが表示された

[請求入力フォーム] が表示された



[検索と置換] ダイアログボックスが[顧客の氏名] フィールドに対して検索できる状態が表示された

正しく検索できることを確認できたら、[検索と置換] ダイアログボックスとフォームを開けておく



Point

複数のアクションで処理を自動化しよう

マクロに複数のアクションを書くと、それらのアクションは上から順番に実行されます。このレッスンでは[フォームを開く] [コントロールの移動] [コマンドの実行]の3つのアクションを使って一連の処理を自動的に実行するように設定していますが、ほかにもいろいろ

んな使い方ができます。フォームを表示する前にアクションクエリを実行しなければいけないときや、更新クエリで更新した結果をレポートとして印刷したいときなど、マクロで自動化すれば手作業でやるよりも簡単でミスがおきないので試してみましょう。